

産業常任委員会 管内視察報告

産業常任委員会で5月20日に実施した管内視察について委員の感想を交え報告します。

① 中山間農業研究所

中山間地農業を維持・発展する「元気な農業づくり」を目標とし、人工培土を使用したトマト栽培の研究が行われており、土耕栽培では通常8〜9t程度のところをだいたい3倍弱の24t程取れる。飛騨地域で9名の農家の方が人工培土を行っているが飛騨市はゼロであり、飛騨市への普及を図っていただきたい。

② 西野製材所

飛騨市は70%が広葉樹。広葉樹の利用として、池ヶ原湿原、山之村、畦畑の市有林を切り出し製材している製材所である。

広葉樹の製材所は、高山を含めても2軒しかない。中川町との交流を拡大して行く方策として、材木、板材を販売することが考えられるが、輸送等のコストが掛かることもあり課題が多いと感じた。



kino workshop の作業場

もう少し商品アイテムを増やして、手頃な価格帯の製品製作を期待する。

飛騨牛素牛の生産、担い手の育成、堆肥処理問題解決にむけた耕畜連携のモデル構築を事業の根幹としてスタートした。

和牛繁殖農家を増やして「飛騨牛」を大幅に増頭し、飛騨産飛騨牛のブランド力のUPにつなげていただきたい。

牛、飼育飼料の搬入道路が狭い、道路幅の拡幅が早期の課題である。

④ kino workshop

太江に来て約13年、現在は夫婦で、広葉樹を使った小物と家具を作っている工房である。家具は主にテーブルや椅子。

⑤ めひの野園 飛騨流葉牧場

県、飛騨市の補助を受け本年1月より神岡町では初めての障害福祉サービス事業所として開所、障害のある方に働く機会を提供し、その対価として工賃、給料を支払うことを主とした就労系の事業所（多機能型事業所）である。

現在、飛騨地鶏の生産数は、1万2千羽。敷地内の池に野鳥が飛来する為、鳥インフルエンザの感染を防止するため、池の埋め立てや「飛騨地鶏」のブランドを高めるため、地元での消費拡大が重要であり、今後、飛騨地内への販路拡大が課題である。

⑥ 葉師橋 不法投棄場所

葉師橋より川に市指定ゴミ袋（生ごみ）や黒ビニール袋（紙おむつ）などが不法投棄されていた現場。不法投棄を防止するために、不法投棄の監視カメラによる対策と市民のモラルの向上に期待したい。

⑦ 船津座

各種イベント、地域住民の憩いの場として、地域内外の交流の中心的役割を担うものとして、平成17年4月に完成し、飛騨市最初の指定管理制

度を導入した施設です。当初から限られた予算の中で、民間活力を生かして運営して、指定管理料を1千万円程度の削減をしている。コストは人件費で3割を占める。人員は9名である。

年間2千万円程の指定管理料であり、指定管理料を減らす経営努力が必要である。

⑧ 数河地内国道41号線災害 復旧工事現場

発災は平成30年7月7日で、2ヶ所で土砂流出しており、下流側で4千㎡、上流側で

6千㎡の土砂が流れ出た。国土交通省所管の国道への土砂流出防止柵工事は6月末で完成する。土砂流出防止柵は重力式擁壁である。

この地域は山間部で、急峻な地形が多く、災害は想定外の地区・箇所からの発生があるため、今後、防災についての一層の対策が求められる。また、発生した場合に直ぐに対応が出来るように国、県、建設業協会とのより一層の連携強化を図っていただきたい。（産業常任委員長 徳島）

産業常任委員会活動報告

4月 5日(金) 第4回委員会

1. 定例会年間計画について
2. 委員会年間計画について

4月22日(月) 第5回委員会

1. 所管事務調査
商工観光部、農林部・農業委員会
環境水道部、基盤整備部
2. 管内視察調査について
3. 管外視察について

5月10日(金) 第6回委員会

1. 管内視察調査について
2. 管外視察について

5月20日(月) 第7回委員会

1. 管内視察調査
2. 管内視察調査報告書まとめ
3. 管外視察について

6月27日(木) 第8回委員会

1. 令和元年第2回定例会における付託案件について（論点整理）

6月28日(金) 第9回委員会

1. 付託案件「議案第77号」の審査